

「機械学習サマースクール MLSS 2015 Kyoto」を実施しました。

(2015年8月23日～9月4日)

情報学研究科では、3専攻（知能情報学、社会情報学、通信システム情報）合同で留学生獲得を推進するために「機械学習サマースクール」を開催しました。これは、主催団体であるMLSS（Machine Learning Summer School）が2002年の発足から世界中を巡って開催してきた一連のサマースクールで、第29回目を情報学研究科との共催により開催したものです。

2週間の集中講義に445名の参加者を受け入れ、うち3分の2は外国人、3分の1は日本人でした。国内から235人（外国人65、日本人170）、国外からは210人（外国人207、日本人3）が参加し、プログラム全体では61ヶ国から人々が集まりました。そして、国際化支援体制強化事業の支援を受け、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、インド工科大学、シンガポール国立大学、国立台湾大学、北京大学、ベトナム国家大学等から30名の優秀な留学生が参加しました。また、スタンフォード大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア大学バークレー校、カーネギーメロン大学等の世界で最も権威のある大学から14名の講師を招聘しました。

さらに、情報学研究科留学生獲得企画として教員5名による研究紹介や研究室の公開も行う「京都大学セッション」を開催し、参加者から大変好評を得ました。

このサマースクールは全体を通して大成功を収めました。参加した学生たちが全世界と繋がることで同じような考えを持つ友人を得て、日本人の学生や科学者と出会い、そして、生涯にわたって日本との強い絆を確立させてくれることを期待しています。



講義風景



講義風景



時計台前にて参加者の集合写真



講義風景



ポスターセッション



休憩時間



日本文化体験（舞妓おどり）

【関連リンク】

- 機械学習サマースクール
<http://www.i.kyoto-u.ac.jp/mlss15/>